

生駒市商工観光ビジョン 修正及び変更箇所

NO.		ページ	意見	意見への対応
1	議会	全体	注釈の入れ方が後ろではわかりづらい。	後ろの用語集を残した上で、各ページ下枠に注釈を入れました。
2	議会	3	1.2改定の背景 4行目 「本市においても」と言った後に「国内マーケットの縮小」という表現は繋がりがおかしい。	より分かりやすく「国内マーケット縮小による影響」と表現を変更しました。
3	議会	5	■コラム1:SDGs 「いこま市民パワー株式会社を核として」という表現は正しいのか。	ビジョンとの関連性を分かりやすくするため、全体の構成を変更しました。 「いこま市民パワーを核として」の表現については、変更しません。 併せて、より適切な表現に一部修正しました。 「開発目標」→「国際社会共通の目標」 「17の目標」→「17のゴール」 「市内産業の活性化」→「地域経済の活性化」等
4	議会	6	2.1 生駒市の人口・世帯の推移と将来予測 図-1生駒市の将来人口推計(予想値)と図-2生駒市の人口・世帯数の推移(実数)のR2人口が異なっている。実数に統一されたい。	図-1を実数の入ったものに差し替えました。
5	議会	9	(2)分配からみた地域経済 分配所得は全国比、課税所得水準は県内他市との比較となっておりわかりづらい。	分配所得についても県内他市との比較とし、比較表(図-6)を追加しました。
6	議会	10	(4)経済構造における課題 4行目 「消費者の行動変容に繋がるよう域内消費の意識を醸成していく」とあるが、ここまで言ってしまっても良いのか。	「消費者の行動変容に繋がるよう」の文言については削除し、単に「意識を醸成していく」としました。 また、「域内」「域外」という表現がわかりづらいため、すべて「市内」「市外」に統一しました。

NO.		ページ	意見	意見への対応
7	議会	11・27	2.3生駒市の事業者を取り巻く経営環境 (1)全国的な社会的背景、時代潮流 「就労ニーズ」という言葉が何を指しているのかわかりづらい。	P11 ③新しい経営と雇用への転換 1行目 →「柔軟な働き方等の就労におけるニーズ」 P27 (4)雇用と就労のバランス 6行目 →「雇用する側と就労する側のニーズのバランス」に変更しました。
8	議会	12	(2)生駒市における経営環境の現状 ①消費者・就労者を構成する人口の構造変化 5行目 「市内企業の産業構成の変化」という表現がわかりづらい。	「ファミリー向けから単身向けへの業態の変更、学研高山地区第2工区(288ha)の都市型産業の集積等による市内の産業構成の変化」とし、説明を加えました。
9	議会	12・29	②生駒市内の土地利用 事業系用地が少ないと言ってよいのか。住宅エリアやまちなかエリアも用地に入れられるのでは。	P12 用地がどれだけ空いているかという数値データは存在せず、確認が取れないため「少ない」という表現を避け、ここでは用途別の割合の記載に留めました。 P29 →3.7立地(1)現状や特徴の「事業系の用途地域が少なく」という表現は変更していません。(数値データは無いものの、現実的に不動産業者を介し、立地や増設の希望に応じた供給ができておらず、また、そのため「対象エリア以外にも立地誘導を図れるような施策が必要」としてあります。
10	議会	12・30	③商業エリアの賃料 賃料水準が高いと言っていいのか。また、何と比較して高いのか。基準を明らかにしてほしい。	「賃料が高い」とは、懇話会やヒアリングで頂いたご意見ですが、賃料は立地や建物の構造、賃借需要など多くの要因で決まり、他と比較することが難しく、記載内容を補完するデータが出せないため、記載を削除しました。 あわせて、P30の課題や支援ニーズに記載のあった「商業エリアにおいて、店舗を借りる際の床単価が高く、出店したい起業者のハードルになっています」の表現についても削除しました。
11	議会	12・26	③生駒市民の就業状況 内容がわかりづらい。何と比べて低くなっているのか。(P26も同様)	「奈良県や全国に比べ」等、比較対象を追記しました。 また、「なっています」は「です」に変更する等、表現を修正しました。

NO.		ページ	意見	意見への対応
12	議会	14・15	<p>3.1 産業全体の状況 事業所数や従業者数の増加、減少傾向は何と比べてのことかわからない。比較できるように修正されたい。</p>	<p>経年による従業者数規模ごとの従業者の増減を述べたものですが、文章に一部誤り(データとの整合性を欠いている)があったため、該当部分は削除し、傾向に言及している箇所は、単に値を述べるなどして、わかりやすくなるよう修正しました。</p> <p>(修正箇所) P14 「『医療・福祉』『教育・学習支援業』が事業所数・従業者数ともに増加している一方、『卸売・小売業』『宿泊業、飲食サービス業』は事業所数・従業者数ともに減少しています。」を、 「『医療・福祉』『教育・学習支援業』で従業者数が増加している一方、『宿泊業、飲食サービス業』では従業者数が減少しています。」としました。</p> <p>P15 「一方で、従業者数が10人未満の事業所は減少傾向にあります。全体では20人から100人以下の従業者規模の事業所で働く人が増加傾向にあります。」を削除</p> <p>P21 「飲食業で、事業所数・従業者数・売上が増加傾向にあり、事業所規模も拡大しています。」「以上の状況から、身近な生活圏内の小規模店舗が減少していることがわかります。」を削除</p> <p>P24 「従業者数が30～49人、100人以上の規模の事業所で働く人が増加傾向となっています。」「『従業者数1～4人』『従業者数5～9人』の事業所が全体の76.6%を占めており、『従業者数1～4人』の事業所が増加している一方で、『従業者数5～9人』の事業所が減少しています。」を削除</p>
13	議会	16	<p>3.2 市内事業者の経営状況 (1)経営状況 外部要因とは具体的に何か。事例を挙げてほしい。</p>	<p>アンケート結果に合わせて、「市場や取引先の縮小や、同業他社の進出といった外部要因」としました。</p>
14	議会	16	<p>(4)支援策、公的支援機関等の活用 運転資金の需要と設備投資等の需要が二極化とあるが、資料編の雇用-図表12からは読み取れない。</p>	<p>「日常的な運転資金の需要が33%と高い一方、設備投資に関する資金の需要も22%と高くなっています。」に修正し、本編に根拠となるアンケート結果(図-11)を追加しました。</p>

NO.		ページ	意見	意見への対応
15	議会	18	3.3 工業(製造業) (1)事業者の現状や特徴 下から4行目 「調達、販売とも市外との取引が多くなっています」とあるが、販売は生駒の割合が多い印象を受けた。今後は金額ベースでアンケートを取るべき。	資料編の製造-図表3に即して、「調達先については市外との取引が多く、販売先については市内への販売が多いですが、市外での販売も多くなっています。」という表現に変更しました。
16	議会	23	3.5 観光 (1)事業者・観光スポット等の現状や特徴 注3)の表 パレス温泉はもう閉店しているので、跡と書いた方が良い。	「パレス温泉(閉店)」と修正しました。
17	議会	24	(2)強みやポテンシャル 3行目 生駒市は山を切り開いてできたまちなので森林が多いのは当然。「～にもかかわらず」は不要。	「都市近郊の住宅都市であるにもかかわらず」を削除しました。
18	議会	24	(2)強みやポテンシャル 6行目 「評判の良い飲食店が多く、隠れた名店が多い」と言い切るには、7店舗しかないため、「ある」にとどめてはどうか。	「評判の良い飲食店があり」に変更し、併せて「隠れた」という曖昧な表現も削除しました。
19	議会	26～	第3章と第5章で、項目の順番を合わせてほしい。	第5章の順番に統一し、第3章を「雇用・就労」→「立地」→「起業」に変更しました。
20	議会	26	3.6 雇用・就労 (2)雇用におけるニーズ 下から3行目 「人材の確保・育成」に関する期待が3番目に多く、とあるが、3番目を強調しているのはなぜか。後継者不足等の問題も相まって、3番目まで上がってきているという理解でよいか。	「商工業及び観光振興施策や支援策に期待すること全項目の中で、「人材の確保・育成」について「強く期待する」と回答した割合が、「資金制度融資の充実」「増改築・新築に係る支援」に次いで3番目に多く、と、アンケート結果に応じ、詳しく記載しました。
21	議会	29	(3)課題や支援ニーズ 「国道163号バイパスの整備に併せた検討」とは具体的に何か考えているか。	現時点で特定の何かを考えているわけではない。(答弁)

NO.		ページ	意見	意見への対応
22	議会	30	3.8 起業 (1)現状や特徴 伴走支援や創業支援について、税金でやる以上、業種やターゲットを絞るべきでは。	H28からの7年間である程度の潜在起業家は支援出来た。伴走支援の効果もあった。今年度は周知方法・カリキュラムの見直しにより、参加者が増えており、まだまだ発掘の余地があると考えている。業種を絞るのは難しいが、ターゲットはあくまで生駒市で事業をする人、としている。(答弁)
23	議会	31	3.8 起業 (3)課題や支援ニーズ 「子供」を「子ども」に修正されたい。	修正しました。
24	議会	31	「子どもが大人に会う機会～」とあるが、対象や構想について考えはあるか。教育部門と連携されたい。	現時点では、小中高対象に、企業家の体験談を聞いてもらうこと等を考えている。教育部門とのすり合わせも今後行っていく。(答弁)
25	議会	31	「学校で起業教育がなく、そもそも子どもが大人に会う機会が少なく、企業家が身近にいないことも課題です。」とあるが、これはやろうとしたができなかったのか。何をもって企業家というかにもよるが、企業家はクラスに一人はおり、身近にいると思う。ただ、マッチングの場がないとは感じる。子どもが生駒で過ごし起業する、といったことを押ししてほしい。	前回ビジョンP25に記載があり、それを受けて書いている。案ではあるが、クラスに一人企業家がいるとのことなので、親がクラスで話すような機会を作れたらいいと思う。(答弁) →クラスに一人しかおらず、子どもと会う機会が少ないのは事実であり、「企業家が身近にいない」の表現は変更しません。
26	議会	31	「住民等が身近な専門家に無償であることを前提に依頼する」の意味が分かりにくい。	「事業者と住民等との間で顔の見える関係が十分に築けてないことや、形のないサービスに対してお金を払う意識が薄いこともあり、住民等が身近な事業者に無償を前提に依頼するケースがあります。」と変更し、「地域で仕事がまわっていません」という表現は、ご指摘の通り極端であると判断し、削除しました。
27	議会	31	「地域で仕事がまわっていません。」と言い切っているのか。	
28	議会	32	「4章 めざす将来像」の位置について、推進体制であるなら、第5章ロードマップの前後に入れてはどうか。	めざす将来像のうち推進体制(4.2目指す将来像の実現に向けて)以下を、5.3ロードマップの後ろに移動しました。

NO.		ページ	意見	意見への対応
29	議会	32	「ローカルビジネスを中心に、リスクを軽減するための支援が求められています。」とあるが、「リスクを軽減するための支援」とは何か。	創業塾などにより起業に係るニーズについては対応してきましたが、今後は、起業をした後の様々な悩みや課題に対しても、「EGいこま」の考え方のもと、生駒商工会議所や地元金融機関との連携を強化し、現在つながりの薄い国・県、大学等の支援機関との連携も深め、産学公民金の支援者のネットワークを構築し支援することを意味しています。
30	議会	32	「ベッドタウンモデルから・・・新たな住宅都市を実現する」とあるが、から～に転換するという言い方が適切では。文章も途中で切ったほうが良い。	「ベッドタウンモデルから、住民の暮らしを支える産業や職住近接・多様な働き方が実現できる環境など新たなライフスタイルへの対応、自然環境や観光・地域資源を生かした身近な非日常性などの、住みやすさにこうした要素を加えた新たな住宅都市を実現する必要があります。」から
31	議会	32	今のベッドタウンモデルだと将来どうなるのかを明確に書くべきでは。	「本市においても、都心回帰が進み、人口減少による地域経済の落ち込みが懸念される中、従来型の住宅都市の要素に加え、地域で多様な暮らし方、働き方、楽しみ方が叶う新たな住宅都市の実現が、まちの持続可能性の観点からも必要になってきています。」と変更しました。
32	議会	35	5.2 5つの分野の目標と施策の方向 (1)商工業 工業【施策の方向】 ○立地製造業への企業訪問と意見交換の場の設置 通勤環境の確保が唐突感がある。一番の課題は雇用ではないか。	「雇用に関する課題を共有」することは、上段の【目標】の中にも記載があるため、懇話会でご意見をいただいた「通勤環境の確保」に特に言及したのですが、課題は複数あるため、「操業環境に関する課題」に変更しました。
33	議会	35	関西文化学術研究都市(※)推進機構になっている。	関西文化学術研究都市推進機構(※)とし、脚注についても関西文化学術研究都市推進機構の説明に変更しました。
34	議会	38	(2)観光 【目標】 「市民の日常的な消費活動を通じて感じる非日常体験」について、コラムや事例、絵などで分かりやすくしてほしい。	全体的に表現を見直し、「市民が身近な風景や文化に触れたり、魅力あるお店やマルシェなどのまちなかの消費を楽しむ「まちの魅力」を体験する機会を創出するマイクロツーリズムを推進します。これにより市民が「住んで楽しい身近な観光価値」に気付き、その価値の発信を通じて国内外の来訪者を誘引し、地域経済の活性化に繋げていく本市ならではの観光振興を進めます。」と、わかりやすくしました。

NO.		ページ	意見	意見への対応
35	議会	38	【施策の方向】 ○市民がつくる観光の魅力 市民に「来訪・来店を促し」が下の来訪者と混同するため、違う言葉にされたい。	混同しないと判断し、変更しません。
36	議会	38	○来訪者の増加とその需要の受け皿となる事業者の取り組みへの支援 「近隣住民やインバウンドに情報を発信」とあるが、何をだれに発信するかがわかりにくい。	「近隣都市の住民や奈良県・大阪府など本市周辺に訪れている国内外の来訪者に対し、観光施設だけでなく地域としての本市の魅力を発信することで、誘客を図ります。」として、発信内容とターゲットを明確にしました。
37	議会	38	「事業者への支援としては、例えば土日や夜間の営業など来訪者の様々なニーズに積極的に対応しようとする事業者の発掘と育成を図ります。」とあるが、市は何を支援するのかわかりにくい。	「例えば土日や夜間の来訪者数の情報を提供するなどし、来訪者のニーズに積極的に対応しようとする事業者を支援します。」としました。
38	議会	38他	「インバウンド」は用語集を見ると”旅行で訪れている人”を指しており、使い方が間違っているのでは。横文字の濫用も気になる。	「外国人来訪者」等、可能な個所は日本語の表現に変更し、1箇所のみ(P11「インバウンド需要」)、その単語自体で使われるため、注釈を付して残しました。
39	議会	39	○外国人向けの情報発信や観光ルート等案内の強化 「人気となった店舗の情報」とあるが誰が判断するのか。公平性を保てるのか。	公平性を保つため、「人気となった店舗の情報などをインバウンドで訪れている外国人に発信します。」の一文を削除しました。
40	議会	39	【前回ビジョンの検証を踏まえた取り組みのポイント】 実施したことでどういう成果・課題があったのかが見えない。前半はコロナがなかったので実施したことがあるなら記載してほしい。	前半部分にできたことを記載し、「一方で」と追記し、以降は課題となるよう並べ替えて整理しました。
41	議会	42	求人側のニーズだけでなく、例えばサテライトオフィスなど求職側のニーズにも対応すべき。そのため、立地だけでなく、雇用・就労の中にもサテライトオフィスの記載を盛り込んだ方がいいのでは。	(4)立地 【施策の方向】 ○新たな企業誘致・開業支援 「サテライトオフィス等を誘致することで商業地の活性化や雇用の創出を図ります。」とし、ここで雇用についても併せて言及することとしました。

NO.		ページ	意見	意見への対応
42	議会	43	(4)立地 【前回ビジョンの検証を踏まえた取り組みのポイント】 「雇用と税収の増加に貢献しました。」とあるが、廃業も増えているなか本当にそう言えるのか。	「新たな雇用と税収の増加に貢献しました。」に変更しました。
43	議会	44	(5)起業 【目標】6行目 「エコシステム」という言葉は一般的ではないため、注釈がいるのでは。	注釈を追加しました。
44	議会	47	5.4 ビジョンの実現に向けて (1)推進体制 図-22 →「消費者」が中心に書かれているのはなぜか。また、「公的支援機関」は「市役所」「県・国」とは別なのか。	図の中心の「生産者・消費者」を「事業者・起業者」に変更し、市民などの「民」は消費・購買を通じて経済活動に参加するという表現に修正しました。 また、公的支援機関を「公」としてまとめ、機関名を例示するなど、イメージが湧きやすいように図を修正しました。
45	議会	48	(2)事業者、市民の取り組み、行政等の役割 ②市民の理解及び協力 →事業者が主語に見えてしまうので修正されたい。	①の書き出しに「事業者は」、②の書き出しに「市民は」を追記し、主語をわかりやすくしました。
46	議会	48	③公的支援のあり方 →「絶えずその土壌である経営環境の改善に」とあるが土壌とは何か、わかりにくい。	土壌という表現をやめ、「絶えず経営環境の改善に」と変更しました。
47	議会	48	④市の責務 →高山竹林園とおちやせんは支援拠点なのか。	支援拠点「等」と変更しました。
48	議会	資料編	観光－図表3 H30までの図表になっているが、最新のデータはないのか。	令和元年度の調査結果があったため、最新データに差し替えました。
49	議会	資料編	全体的に表や図が見づらい。すべての人が見やすいデザインに工夫してほしい。	色と図柄で工夫しました。

生駒市商工観光ビジョン 修正及び変更箇所(議会以外)

NO.	ページ	事務局の対応
①	事務局 8・9	<p>地域経済分析システム(RESAS)による数値の修正があり、P8,P9の各数値を修正後のものに改めました。</p> <p>※自治体などの修正報告に応じ、年に1回程度(不定期)数値が修正されることがあります。今回は、最新である平成30年度の数値について、8/31に修正が実施されました。</p>
②	事務局 18	<ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きい事業所が増加しています⇒している可能性があります。 ・公的支援機関の⇒公的支援機関等の活用実績は～と低い状況にあります
③	事務局 24	「宝山寺、生駒山麓公園、高山竹林園の来訪者数は、新型コロナウイルス感染拡大前から減少傾向にあります」という記載が(1)と(3)の両方にあつたため、(3)課題や支援ニーズの記載を削除しました。
④	事務局 26	①生駒市内の雇用状況 業種別の従業者数は、「医療・福祉」「卸売業・小売業」「製造業」の順とあるが、製造業は4番目だったので、削除して上位2つの記載に変更しました。
⑤	事務局 29	約100社の集積→140社
⑥	事務局 31	「人と人とのつながりと信頼をつくりやすい地域であり、地域での関わりを大事にしている事業者が存在します。」→ 「人と人とのつながりや信頼、地域での関わりを大事にしている事業者が存在します。」

NO.		ページ	事務局の対応
⑦	事務局	32	「めざす将来像」の中で、各分野の現状と課題を総括していた部分について、第3章で既に述べたことの繰り返しになるため削除し、現状については簡潔に記載しました。 起業分野で「リスクを軽減するための支援」の記載があった部分についても、文ごと削除しました。 また、「めざす将来像」についても以下のとおり変更しました。 将来世代に向けて、「住みよさに、働きやすさ、楽しさ」も生み出す、新しい住宅都市の創造⇒ 将来世代に向けて、「住みよさに、働きやすさ、暮らしの楽しさ」も生み出す、新しい住宅都市の創造
⑧	事務局	32	「ベッドタウンから、…新たな住宅都市」では読みにくいので、「都心回帰が進み、人口減少による地域経済の落ち込みが懸念される中、従来型の住宅都市の要素に加え、地域で多様な暮らし方、働き方、楽しみ方が叶う新たな住宅都市の実現に向けて、」を追記しました。
⑨	事務局	33	「市民も参加する産学公民金の経営環境づくり 生駒市版エコノミックガーデニング『EGいこま』の推進」の部分を、基本方針の中に取り込みました。
⑩	事務局	33	記載順を変更したため、5.1基本方針と取組指針の中に「EGいこま」の説明を追加しました。
⑪	事務局	33	図-18にあった各分野の5年後の姿について、図-19に記載があるため削除しました。
⑫	事務局	35・37・42	「生駒商工会議所による～」という表現を「生駒商工会議所と連携し～」に変更しました。
⑬	事務局	45	「帝塚山大学との連携による地元食材を使った食堂メニューの開発、市内小・中学校における「オンライン職業体験」、高山竹林園でのお抹茶体験や工場見学を行いました。また、市内小学校・奈良先端科学技術大学院大学・地域のコミュニティとの連携により、小学生による地域紹介アプリの開発等を行いました。」という記載に変更しました。
⑭	事務局	関係法令	資料編に移動しました。